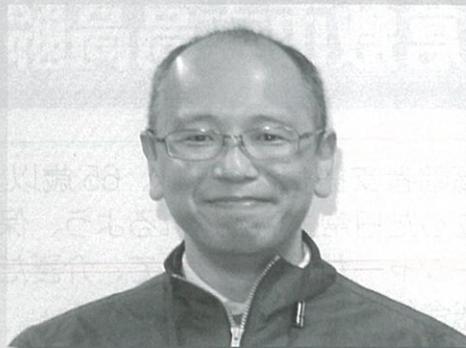


コロナ禍で地域と人とのつながいを続けるために

倉敷市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 長沢 吉弘



令和2年7月に、生活支援コーディネーターに就任しました長沢です。

サロン活動など地域活動をお手伝いさせていただいていますが、この一年は新型コロナウイルス感染症のため、多くの地域活動が影響を受け、休止や縮小を余儀なくされています。

感染が心配なあまり、外に出て人と会い、会話することがなくなり、それまで健康に過ごされていた人が心身の状態が悪化するケースも多く聞かれました。

そのような状況のなか、これまで続けてきたつながりを何とか維持しようと試行錯誤されている地域の通いの場もあります。

例えば、交換日記形式の回覧板を地域で回して、参加者の近況をお互いに伝えあうサロン、スマホやパソコンを使って、オンラインでサロンの参加者同士をつなぐ地域、屋内での体操から屋外でのラジオ体操に切り替えるなど、コロナ禍に負けずに活動されようとする意気込みを感じられます。

ワクチン開発も進み、年内には接種できるかもしれないというニュースも聞かれますが、コロナ禍が完全に終息するまでには、まだしばらくの我慢が強いられるのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症の予防には、手洗い・消毒・換気・マスク着用なども有効ですので、普段から自分でできる予防策を取っていただき、また、コロナ禍に負けず地域と人とのつながりを絶やさないアイデアを活かしながら健康な日常を維持していただきたいと思います。

生活支援コーディネーターは、地域での居場所づくり、支え合いのある元気な地域づくりを応援する職員です。地域でそのような活動に取り組まれる際には、ぜひお手伝いさせてください。

大高地区の民生委員・児童委員 主任児童委員

主任児童委員 木村 玲子

西中新田東中 高谷 典 慎 藤原 方子

西中新田西中 和田 敬 徳 古泉 悦子

沖 太田 智 秀 塩見 貴之 板谷 雅子

四十瀬 奥田 陽 市 白神 元 治 小河原 照彦

上富井 板谷 進 村上 真由美 荒木 新太郎

泉 町 青木 真由美

バイオガーデン倉敷 奥村 修

倉敷市大高高齢者支援センターの紹介です

高齢者支援センターは、65歳以上のかたが可能な限り地域において自立した日常生活を送れるよう、保健師・看護師・社会福祉士・ケアマネージャーが中心になって、介護だけでなく、保健・医療・福祉に関する総合的な支援を行う窓口です。

制度上は「地域包括支援センター」ですが、倉敷市では「高齢者支援センター」という名称を用いています。高齢者支援センターは、お住まいの地区（小学校区）ごとに利用できるセンターが決まっています。

大高小学校区の担当は、私たち大高高齢者支援センターです。



小林アバター



白石アバター



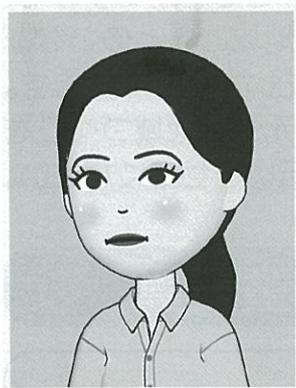
水元アバター



片岡アバター



宮本アバター



清水アバター



石神アバター

COVID-19が収まる心配がないなか、組織として住民にどのような支援をしているのか

緊急事態宣言後に、サロンなどの通いの場を再開するときには、基本的な感染防止対策や気をつけることなどを検討しました。新型コロナウイルスによる自粛で運動不足を感じたかたと、感染状況に配慮しながら、新しい様式で介護予防教室を開催して、皆さまと一緒に健康促進に取り組みました。

COVID-19が収まる心配がないなか、組織として住民に心掛けてもらいたいこと

「マスクの着用」や「人と人との距離の確保」「3密の回避」など、基本的な感染予防対策を引き続きしっかりと行いましょう。高齢のかたは、外出の際には人ごみを避けるように気をつけてください。

誰もがどこでも感染する可能性があります。感染した人が悪いのではありません。早く治るよう励まし、治って戻ってきた時には温かく迎えてあげましょう。また、医療従事者等を含めて地域を支える人たちへの敬意や感謝も忘れないようにしたいですね。

COVID-19に関する相談があるときには、どのようなルートや手続きがあるのか

新型コロナウイルスに関する高齢者支援センターへの相談としては、通いの場の休止や再開に関するものが多かったように思います。感染に関しては、まずかかりつけ医に相談、かかりつけ医のいないかたには保健所に相談するようにお伝えしています。